



News Release

2026 年 7 月 15 日
N I T E (ナ イ ト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
北 海 道 支 所

『夏バテ(夏のバッテリー)』にご注意を ～「リチウムイオン電池搭載製品」は3つのCで事故を防ぎましょう!～

1. 事故の発生状況

NITE に通知のあった製品事故情報※¹のうち、2021 年から 2025 年までの 5 年間に発生した「リチウムイオン電池搭載製品」の事故※²は、北海道で合計 91 件ありました。

- (※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故を含みます。
- (※2) 事故件数の中には、調査中の事故や原因は特定されていないがリチウムイオン電池に起因した可能性があると推定される事故も含みます。

(1) 年別・製品別の事故発生件数

「リチウムイオン電池搭載製品」の製品別の事故発生件数を表 1 に示します。

表 1 年別・製品別の事故発生件数

	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年	計
モバイルバッテリー	0	2	2	6	9	19
充電式電動工具	5	1	2	2	4	14
ポータブル電源	0	2	2	2	2	8
照明器具	1	2	3	0	1	7
充電式掃除機	1	1	2	2	1	7
ノートパソコン	0	1	1	1	2	5
スピーカー	0	0	0	1	3	4
スマートフォン	0	2	0	2	0	4
玩具	1	1	1	0	0	3
電動アシスト自転車	0	1	0	1	0	2
携帯用扇風機	0	0	1	0	0	1
タブレット端末	0	0	1	0	0	1
その他	1	5	2	4	4	16
計	9	18	17	21	26	91

(2) 被害状況別の事故発生件数

「リチウムイオン電池搭載製品」の被害状況別の事故発生件数を表2に示します。

表2 製品別・被害状況別の事故発生件数^{※3}

	人的被害			物的被害		計	うち 火災件数
	死亡	重傷	軽傷	拡大被害 ^{※4}	製品破損		
モバイルバッテリー	0	1	0	17	1	19	17
充電式電動工具	0	0	0	13	1	14	14
ポータブル電源	0	0	0	6	2	8	8
照明器具	0	0	0	5	2	7	6
充電式掃除機	0	0	0	7	0	7	7
ノートパソコン	0	1	0	2	2	5	4
スピーカー	0	0	0	2	2	4	3
スマートフォン	0	0	1	2	1	4	3
玩具	0	0	0	2	1	3	3
電動アシスト自転車	0	0	0	2	0	2	2
携帯用扇風機	0	0	0	1	0	1	1
タブレット端末	0	0	0	1	0	1	1
その他	0	0	0	13	3	16	13
計	0	2	1	73	15	91	82

(※3) 物的被害（製品破損または拡大被害）があった場合でも人的被害のあったものは、人的被害に区分している。また、人的被害（死亡・重傷・軽傷）が複数同時に発生している場合は、最も重篤な分類で事故件数をカウントし、重複カウントはしていない。

(※4) 製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすこと。

2. 事故事例

■電動アシスト自転車の事故（リコール製品による事故）

事故発生年月 2022 年 9 月（北海道、30 歳代・女性、拡大被害）

【事故の内容】

異音がしたため確認すると電動アシスト自転車のバッテリー及び周辺を焼損する火災が発生していた。

【事故の原因】

リチウムイオン電池セルの焼損が著しく、異常発熱した原因の特定には至らなかったが、電動アシスト自転車のバッテリーに内蔵された電池セルが異常発熱し、出火したものと推定される。

なお、輸入事業者は、当該製品を含む特定の製造ロットのバッテリーにおいてバッテリー内部劣化等が生じた際、異常検出ができなかった場合においてバッテリーから発火するおそれがあるとして、2022 年 4 月 5 日にホームページに情報を掲載するとともに、翌 4 月 6 日に新聞社告を行い、対策品のバッテリーとの無償交換を実施している。

■充電式電動工具の事故（非純正バッテリーによる事故）

事故発生年月 2022 年 6 月（北海道、30 歳代・男性、拡大被害）

【事故の内容】

ネット通販で購入した電動工具用バッテリーパックを充電中、バッテリーパック付近から出火し、周辺を焼損した。

【事故の原因】

非純正品のバッテリーパックに、セル間の電圧のアンバランスを検知する回路がない構造であったため、過充電により異常発熱し、焼損したものと推定される。

3. リチウムイオン電池搭載製品の事故を防ぐ「3 つの C」

○賢く選ぶ (Cool Choice)

- ・購入前に、販売事業者の連絡先や製品情報、リコール情報を確認する
- ・表示マークが適切か確認する
- ・非純正バッテリーについては取り付けようとしている製品のホームページに注意喚起が掲載されていないか確認する など

○丁寧に使う (Careful use)

- ・高温となる場所では使用・保管しない
- ・強い衝撃や圧力を加えない
- ・異常を感じた場合は使用を中止する など

○正しく捨てる、そして資源循環 (Correct disposal with better recycling)

- ・家電製品を廃棄する際はリチウムイオン電池の使用の有無を確認する
- ・メーカー回収や自治体の回収区分等の廃棄方法を確認する など

4. 製品事故の実験映像について

製品事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

(本件に関する問い合わせ先)

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者: 神山、佐藤

電 話: 011-709-2324